

1977年(昭和52年)7月27日

◇石綿は予想以上に危険

石綿工場などで働く人たちの職業病の原因となる空気中の石綿繊維の濃度が高いほど、肺がんの発症率が高くなる。英国の労働省が、安全が、英国の労働省の調査によると、石綿繊維の濃度が、1000繊維/立方センチメートル(1cc)を超えると、肺がんの発症率が、10%以上増加する。この調査は、1976年、労働省が、石綿繊維の濃度を測定するための調査を行った。この調査の結果、石綿繊維の濃度が、1000繊維/立方センチメートル(1cc)を超えると、肺がんの発症率が、10%以上増加する。この調査は、1976年、労働省が、石綿繊維の濃度を測定するための調査を行った。

英国では一九七六年、労働省が、石綿繊維の濃度を測定するための調査を行った。この調査の結果、石綿繊維の濃度が、1000繊維/立方センチメートル(1cc)を超えると、肺がんの発症率が、10%以上増加する。この調査は、1976年、労働省が、石綿繊維の濃度を測定するための調査を行った。

一九七四年末までに石綿じんを二十五年以上吸った人の死亡者数は、通常予想される数から三〇%も上回った。また、同様に、この調査の結果、石綿繊維の濃度が、1000繊維/立方センチメートル(1cc)を超えると、肺がんの発症率が、10%以上増加する。この調査は、1976年、労働省が、石綿繊維の濃度を測定するための調査を行った。